

着工日 5/30 (予定) 終了日 6月末 (予定) 作業進度により日程のズレあり
※工期中 (月) ~ (土) 9:00-17:00 工事

工期にあわせて以下の順番でスタッフによる復旧作業を行う

①M3F (3日間)

- ・ 配架チェック・移動作業済 (4/25)

★図書の置き場所 … M3Fフロア内 (空き書架・東側・西側)

《4F配架チェック》…現在の作業

②M4F (①~⑦ 7ブロック・1ブロック3日間) ※21日間

- ・ M4F西側部分 (①~③) は一番端の書架に筋交いを入れる
- ・ M4F東側部分 (④~⑦) はすべての書架に筋交いを入れる

※工事作業中以外のブロックの搬入・搬出は可能だが粉塵が出る

※工事作業中の両隣のブロックは空いている状態とする

★雑誌の置き場所 … 5F廊下・3F~4Fフロア内・地下 (含駐車場)

③分室4F (A・Bブロック 計3日間)

中央図書館地下記念文庫室 (1日間)

中央図書館分室1F・2F・3F (1日間)

※事前に分室4Fの落下図書を書架へ戻し、請求記号順に別の場所へ搬出 (6月2週)

※分室Aブロック作業終了後に記念文庫・分室1F~3Fの作業を2日間行い、その間にAブロックの図書の搬入とBブロックの図書の搬出を行う

※分室1F~3Fの作業にブックトラック2台程度必要 (業者使用)

※記念文庫室は3ブロックごとに1~2列棚板を外して業者が図書の取り出しを行う。
それ以外の列は図書館で作業を行う。

★図書の置き場所 … 28番教室 (大学院棟)・階段踊り場・1Fフロア
(その他教室が借りることができるかどうか確認中)

◎その他作業が必要な部分

- 1) 記念文庫室 (上層・下層)
- 2) 分室1F閉架 (移動式書架)
- 3) 新聞室 (専図協)
- 4) 5号館
- 5) 6号館

M4F 作業について【手順】

- ①西側①～③部分の仕分け
- ②書架の状況チェック（棚表への記入） ←4/26 午後
- ③運び出し（3F へ、学院コーナー・仙台・宮城県資料は4F 東側の空き書架へ）
 - ※搬出は入り口に近い③→②→①の順番で行う（学院・新聞コーナーは別）
 - ※余震により混ざる可能性もあるため洋雑誌は和書のフロアへおく
 - ※ブックトラックで運びだし、必要なものはビニール紐で縛る
- ④保管（3F 通路へ列番号ごとに配置）
 - ※ 4/26 に使用面積等確認するために試しに置いてから詳細検討

- ⑤東側④～⑦部分の仕分け
- ⑥書架の状況チェック（棚表への記入）
- ⑦運び出し（4F へ、ただし西側①～③での保管場所の使用状況による）
 - ※ 搬出も④～⑦の順番（紀要・論集コーナーは別）
- ⑧保管